

平成19年4月稼働予定

# 中部清掃組合 日野清掃センターの 愛称を募集します

中部清掃組合・日野清掃センターは、1市3町（東近江市・安土町・竜王町・日野町）の広域で運営される施設です。平成19年4月、近代的な「ごみ処理施設」・「リサイクルセンター」として稼働します。

この施設は、排ガス等基準値においても環境に対する負荷を極力低くし、焼却残渣の資源化や、県下初の余熱利用による発電を行うなど、環境に配慮した施設です。

そこで、中部清掃組合では、この新しい施設の愛称を1市3町から広く募集します。

●応募期間…9月1日（金）から9月29日（金）まで

●応募資格…1市3町在住されている方、または勤務・通学されている方

●愛称の内容…広く皆さんに親しんでもらえるような、安心・安全・清潔なイメージの愛称

●選考等…愛称の選考は中部清掃組合管理会で行い、採用者には、竣工式の席上にて記念品を贈呈します。また、最終選考に残った方にも粗品をお渡しします。

●応募方法…愛称、愛称の理由、住所、氏名、電話番号を記入の上、ハガキまたは封書で、役場住民課または中部清掃組合（日野清掃センター）まで応募してください



▲新施設の完成イメージ

さい。ひとりのみです（厳守）。  
※なお応募された愛称に関する一切の権限は、中部清掃組合に帰属されますのでご了承ください。

## ◆応募・問い合わせ先

・日野町役場住民課

生活環境交通担当

〒529・1698 河原一丁目1番地

☎6578 有線⑤7784

・中部清掃組合（日野清掃センター）

〒529・1663 北脇755番地3

☎0155 有線⑦8900

## 感雑向綿

日野町長 藤澤直広

「琵琶湖が大好き」という嘉田由紀子氏が先月の知事選挙で当選されました。選挙では「もったいない」という言葉が大流行しました。

この言葉は、綿向雑感（2005年6月号）でも紹介しましたが、ケニアの副環境相のマータイさんが国際会議で使われたことで注目されました。日野町自律のまちづくり計画でも、重点7項目のひとつ「ごみ減量・再資源化の促進」で、「もったいない」が生きるまちづくり」を基本目標としています。「もったいない」という言葉は少し控えて奥ゆかしい感じがします。大量生産、大量消費の生活スタイルを見直し、「ものを大切にす文化」を育てることが求められているのではないのでしょうか。

さて、今回の知事選挙では栗東新幹線新駅の建設が大きな争点となりました。新駅の建設には240億円ほどの建設費があるようですが、そのほとんどを県と地元自治体が負担するという計画になっています。自治体の財政が大変厳しい中で大きな負担をしてまで新

駅を建設するのかわりに、意見が分かれば、地元栗東市では、すでに2003年ごろから住民運動が行われていました。全県的には昨年10月から取り組まれた新幹線新駅建設の是非を問う住民投票を求める直接請求の運動によって約8万人もの署名が寄せられたことで大きく報道されるようになりました。嘉田氏も「住民投票条例案が県議会でも否決されたことでスッチが入った（立候補を決意した）」と言われています。住民が政治に関心をもち参加することは大切なことであり、首長や議会が住民の声に耳を傾けることも同じく大切だと思います。

嘉田由紀子氏とは、1年程前に、あるシンポジウムで同席させていただきました。いただいたことがあります。「日野町における自律のまちづくりの基盤は地域共同体の再生、地域共同体はうつつというところもあるが大車」との私の発言に「コミュニティ運動（地域づくり）が大切」と同調され、集落における自治の必要性を熱く話されたことを思い出します。県の行財政を取り巻く状況も大変厳しい中でありますが、選挙で掲げられた公約の実現にむけて誠実に努力され、県民の期待に応える県政を進めていただきたいと思います。